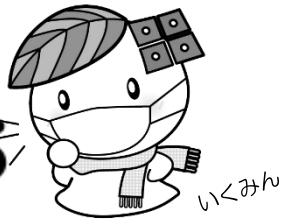


生野区★中学生NEWS



大阪でも緊急事態宣言が出されました。新型コロナウイルス感染症対策を徹底してください。対策はシンプルに「共に暮らす人以外と、マスクを外した状態で長時間の会話をしない」ことが第一です。また、手についたウイルスも原因となります。手が冷たい時期ですが、しっかり手洗いを続けてくださいね！ 生野区長 山口照美

将来、困った時に覚えておいてほしいこと～役所に相談しよう！～

2021年がスタートしましたが、新型コロナウイルスの拡大が止まらず緊急事態宣言が出されました。飲食店は営業時間の短縮で、ますますしんどくなっています。当然ですが、従業員やアルバイトの若者たちも経済的に困るようになります。そこに、悪い大人が近づいてきて犯罪に巻き込もうとするケースがよくあります。今、みなさんは中学校にいますが、高校を卒業したり中退したりした後に「所属（いるべき組織）が無い」状態になると、困った時に守ってくれる人や相談できる先が減ります。

家族との関係がよければ、まだ大丈夫です。ただ、私もそうでしたが家を離れて仕送りが無くなり生活に困っても、親との関係が悪くて絶対に頼れない人もいます。毎日毎晩、アルバイトを掛け持ちし、必死で生きていました。あの時、「役所に行って相談する」なんて、思いつきもしませんでした。誰でも相談していいんですよ！



中学生のうちに、知っておいてほしいこと。未成年のうちは、できるだけ学校や会社といった「所属する先」を持っていてほしい。その先に相談できる大人を、一人は見つけてほしい。そして、いつか家を出て独立する時には、健康保険証やマイナンバーカードなど、身分証明ができるものを持って出てほしい。病院に行く、携帯電話を契約する、家を借りる……身分証明が必要な場面がたくさんあります。悪用されないよう、自分で管理することも大事です。住民票のある住所も言えない若者がいて、困る場面を見てきました。覚えておいてくださいね。



読書のススメ

『むこう岸』

安田夏菜（講談社）

生活環境が違う中学3年生が出会い、「子どもの貧困」にどう立ち向かうかをリアルに描いた児童書です。大人たちはみんなの気持ちを先回りして考えて、本当に必要な情報を伝えていないことがあります。私自身、自分が虐待を受けていたり貧困状態だったりしたときにも「助けてを言っている」なんて、誰も教えてくれませんでした。この本では子どもを助ける仕組みや組織が出てきます。「ヤングケアラー」と呼ばれる、親や小さな兄弟の世話をする中学生も出てきます。子どもとして守られるべき権利と解決策がわかる小説です。



ちょこっとNEWS

中1、中2のみなさん！

「大阪市塾代助成事業」を知っていますか？

大阪市では塾や習い事などの費用を月に1万円まで補助する「塾代助成事業」があります。家庭の収入により制限はありますが、新型コロナ対策で対象が広がっています。申請してから審査があり使えるようになるまで2ヶ月近くかかりますので、新しい学年から使いたい人はぜひ問い合わせを！

大阪市塾代助成事業事務局

TEL: 06-6452-5273

（月～土：12時～20時）



10代のための相談窓口まとめサイト

ミークスで検索 <https://me-x.jp/>